最上位目標　　「子どもの Well-being の実現」
学校教育目標　「心豊かに、自他を高め、章を成す」
～変化に向き合い、信頼される優しさを持ち、社会に貢献する～

SEISHO PRESS

Trying for your dreams

佐賀市立成章中学校
学校だより　第１２号
令和８年１０月２２日
文責　校長　馬郡直樹

☺　「あいさが」へ行ってきました！　☺

１０月１４日（水）に生徒会役員１７名が「あいさが」（佐賀県立視覚障害者情報・交流センター）へ「あすなろフェスタ」（１１月２９日開催）のボランティア打ち合わせと研修に行って来ました。

「あいさが」は視覚障害やその他の理由により読書に不自由を感じる方を対象とした、資料の貸出・情報提供・相談支援や交流のための施設です。以前は、佐賀県立点字図書館という名称でした。

担当の今井さんからの説明では、視覚障害がある方の見え方は、視野の中央がぼやけて見えない、白くかすんで見える、筒をのぞいているように見えるなど様々であり、視覚障害がある方への接し方や声かけの仕方のポイントとしては、正面から「何かお手伝いしましょうか」と声をかけることや、周囲の様子がわかるように具体的に伝えることが大切ということでした。また、白杖は体の一部なので触わるなどしてはいけないということも学びました。研修後、２人の生徒は、「あいさが」から学校へブラインドウォークをしながら戻ってきました。ブラインドウォーク体験をした２人の感想は、「思ったよりも周りの状況がわからず不安でした。補助の人のありがたみがわかった。」「相手のペースに合わせて、具体的に『止まります、曲がります』など細かく伝えることが重要であることや、思ったよりも配慮が必要だと感じた」でした。

なお、「あすなろフェスタ」では、出店や福祉に関する体験はもちろんのこと、成章中吹奏楽部の演奏もあります。生徒・保護者の皆様もお時間があれば「あすなろフェスタ」へ足を運んでみられてはいかがでしょうか。

開催日　11 月 29 日（日）　10:00~15:00
会　場　佐賀県福祉会館　Fukku
　　佐賀県立視覚障害者情報・交流センター　あいさが

あいさが　あすなろフェスタ　検索

画像は配布した通信で御確認ください。

疑似体験の様子＝「あいさが」

KDDI スマホ･ケータイ安全教室(情報モラル)開催

10 月 19 日（月）、KDDI の大浦秀人さんを講師にお招きし、全校生徒を対象に講演会を開催しました。

大浦さんからは、現在若者（特に小中学生）による SNS トラブルが全国的に社会問題となるなか、適切な利用方法やリスクを学ぶ「情報モラル教育」の必要性を訴えられました。以下、講演会の要点です。

① ネットいじめと SNS の特性
　LINE などやり取りは、表情が見えないため誤解が生じやすく、言葉もエスカレートしやすい。
② 法的責任と犯罪化リスク
　14 歳以上は刑事責任の対象であるため、中学生であっても悪質な投稿などは犯罪として扱われる。
③ スマホ・ゲームへの依存と対策
　自分でコントロールするため、利用時間のルール決めることが重要である。
④ 困ったときの対応
　SNS 関係で不安なことがある場合は、一刻も早く周りの信頼できる大人に相談すること。

先生たちの主体的な活動の紹介　～みんなの Well-Being を目指して～

このたび成章中学校では、みんな（生徒と教職員）にとってより良い学校環境（Well-Being）をつくるため、新たにプロジェクトチームを発足いたしました。

■ プロジェクトチーム設置の目的について

生徒たちが、主体的に活動し毎日生き生きと学校生活を送るとともに、教職員も余裕を持って一人一人の生徒に向き合える環境をつくることを目的としています。

■ プロジェクトチーム組織について

この組織は、教職員で構成された生徒会役員のような組織です。各学年代表、保健室や事務室から選出された８名の教職員で構成されています。メンバーは、松原先生、松石先生、宮地先生、井上先生 佐々木先生、竹下先生、水落先生、清水先生です。

生徒の主体的な活動の充実・新設を目指し、生徒たちのやりたいこと、やってみたいことを実現できるような取組を検討し、学校へ提案していきます。

働きやすい職場を目指し、これまでの慣習を見直し、真に必要な教育活動に集中できる環境を整えます。

■ 生徒からの提案を受け付けています

今後は生徒の中からも主体的な取組の提案がどんどん出てくればと思っています。「自分たちの学校を、自分たちの手でより良くしていく」というような生徒たち目線から出てくる「Well-Being」のための提案を学校としてもしっかりと受け止め、実現に向けてともに協議していきます。

保護者や地域の皆様とも手を携えながら、みんなが笑顔で通える学校づくりを進めてまいります。

※生徒の皆さんからの提案は、どんどんプロジェクトチームの先生に相談してみてください!

✏先生たちも常に学んでいます✏

１０月９日（金）、成章中学校において研究発表を行い、本校だけでなく他校からも多くの先生方の参観がありました。研究授業では、１年４組若松教諭（英語）、２年３組久米教諭（社会）、３年４組山本教諭（理科）の３クラスで研究授業が行われました。その後体育館で研究主任の髙木教諭が研究の概要説明を行った後に、中村学園大学山本教授の講演がありました。

画像は配布した通信で御確認ください。

研究授業の様子 @２年３組

この研究は令和７年、８年度の２年間、成章中学校が佐賀市教育委員会から研究指定を受けて行っているものです。研究内容は「１人１台端末による学習ログを活用し、生徒の学びの主体性の向上を図る研究」です。授業の終末部分において生徒が授業の振り返りを PC に入力し、自ら学習の履歴を残しながら学習の調整をしたり、他の生徒の振り返りを見ながら学びを深めたりしています。また、教師も生徒の振り返りを確認しながら、授業改善にいかしています。

山本教授の講話では、研究授業があった３クラスの生徒の学ぶ態度と取組についてお褒めの言葉をいただき、学習を山登りに例えられ（ラーニング・マウンテン）、学習のゴール（目標）はどの生徒も同じだが、各生徒のそこに至るまでの登り方（コース、ペース、使う教材）は生徒自身が決定していくものであるとアドバイスをいただきました。生徒一人一人に応じた学びが重要であると教員一同、さらに認識を深めました。

さらに我々教師集団も、生徒の Well-Being 目指して学び続けます。